

# 浸水被害軽減 のため

# 新曽地区で調整池の工事を進めています



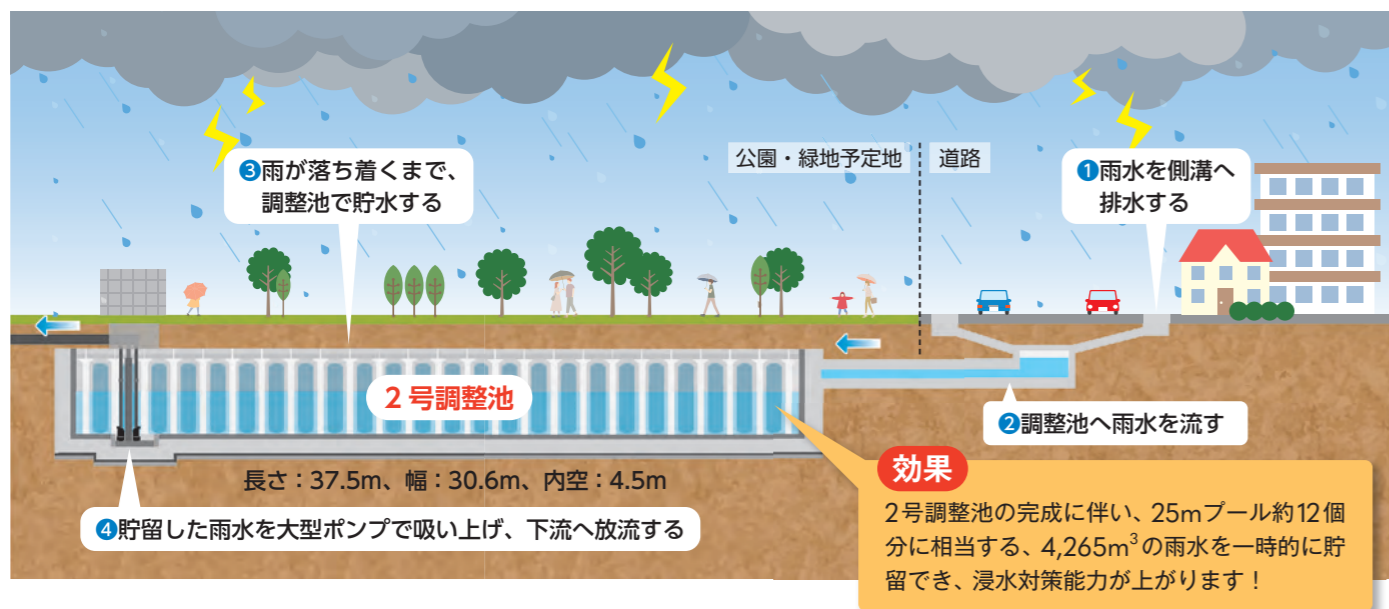
近年頻発する集中豪雨や大型の台風により、市内でも浸水被害がの整備を進めています。今回は、令和8年12月に完成予定の「2号調整池」

度々発生しています。その被害を軽減するため、新曽第一土地区画整理事業区域内では地下式調整池調整池」の工事の概要や効果、進捗状況を紹介します。

■問い合わせ まちづくり区画整理室(内線371)

## 調整池とは？

雨水を一時貯められる施設です。集中豪雨などの大雨が発生した際、調整池に貯水することで、下流水路の水位上昇を抑制して、**浸水のリスクを低減**します。貯水した雨水は大型ポンプで吸い上げ、後日下流へ放流します。



## どこにつくっているの？



### 調整池建設箇所

令和6年10月から、新曽第一土地区画整理事業区域内の地下に**2号調整池**を建設しています。この区域内では全体で32,000m<sup>3</sup>を貯留することを目指しています。

将来、全ての調整池が機能することで、高い治水機能を発揮することが期待できます！

区域内では、すでに稼働している調整池が3カ所あり、2号調整池が完成すると、4カ所合計で約25,000m<sup>3</sup>を貯留することができます。

## 工事の特徴

10月時点で、2号調整池の**83%の整備**が進んでいます

「プレキャスト工法」という、工場で作られた製品を現地で組み立てる工法を取り入れました。従来の「コンクリート打設」と比較し、**周辺環境に対する負荷を軽減**できます。また、**施工期間を短縮**でき、**コスト低減**にもつながっています。

## 工事の様子



工場で作られた部材を120トンクレーンで吊り込みました



部材を組み立てています



この中に雨水を一時貯留します

2号調整池は約300ピースの部材からできています

工場で作られた品質のよい部材が連なっていてできています。



部材と部材をしっかりとつなぎ合わせることで、強固な施設になります！



工事の様子や施設の仕組みを動画で詳しく紹介しています



## 完成イメージ



(令和8年12月完成予定)

将来は公園を整備予定です

### 今後の予定

将来、2号調整池の上には、公園を整備する予定です。また、新曽第一土地区画整理事業区域内の調整池(未着手分)は順次整備を進めていきます。